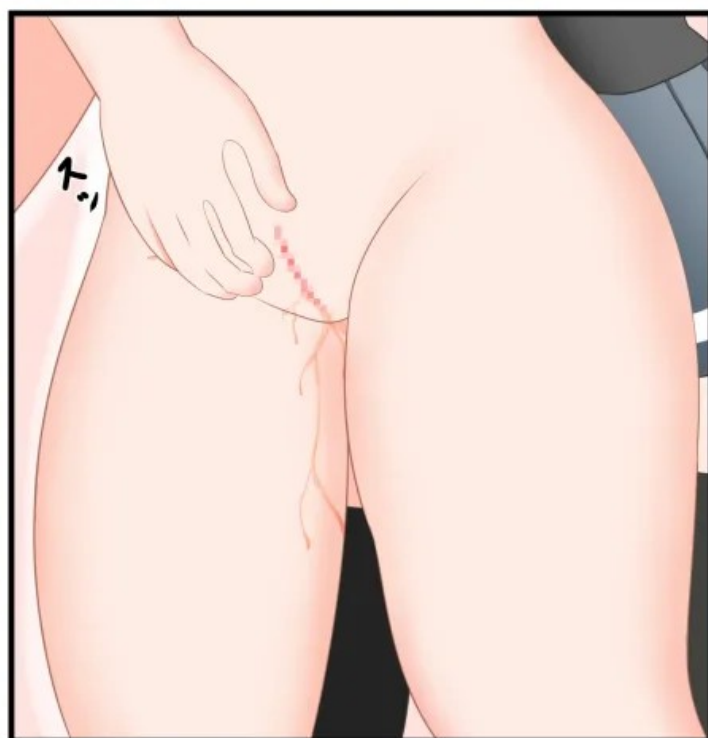
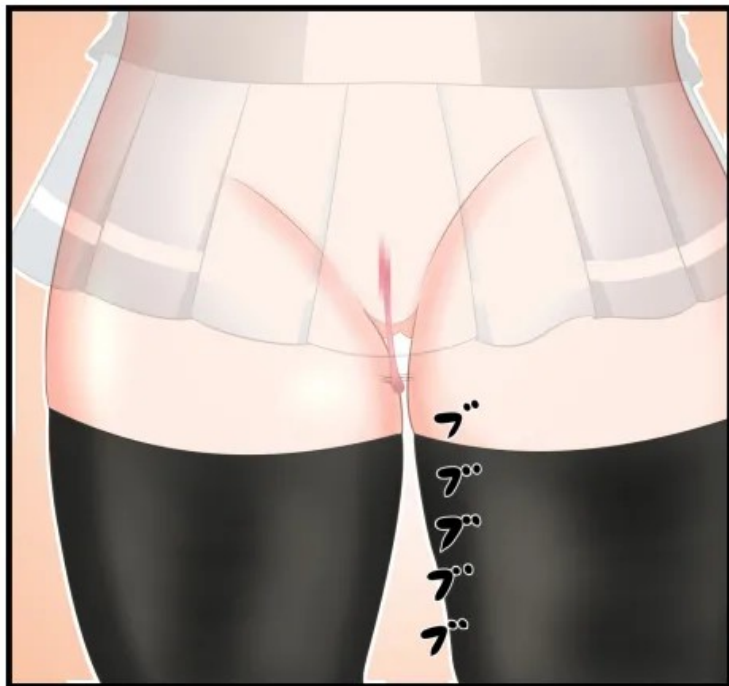


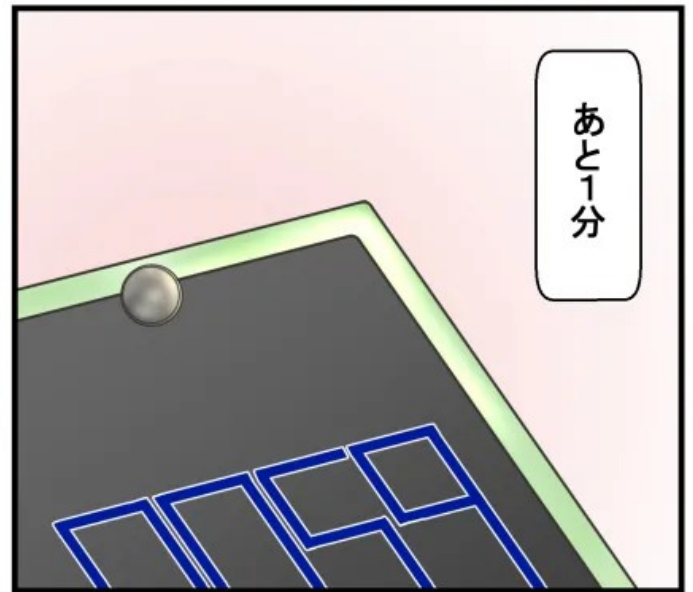
読み聞かせ風
少女体験談 その5













Aちゃんは耐えきれず
絶頂し、おしっこも
漏らしてしまいました。



Aちゃんはたくさん
飲み物を飲まれた
意味を理解しました。

理解した所で
流れ出したおしっこを
止めることはできません。





回りもなんとなく
納得して自分の日常に
戻っていききました。



「あつ、Aちゃん
カバンの中の水筒
漏れてるよ……」と。



Aちゃんは人通りの
少ない場所に連れて
こられました。



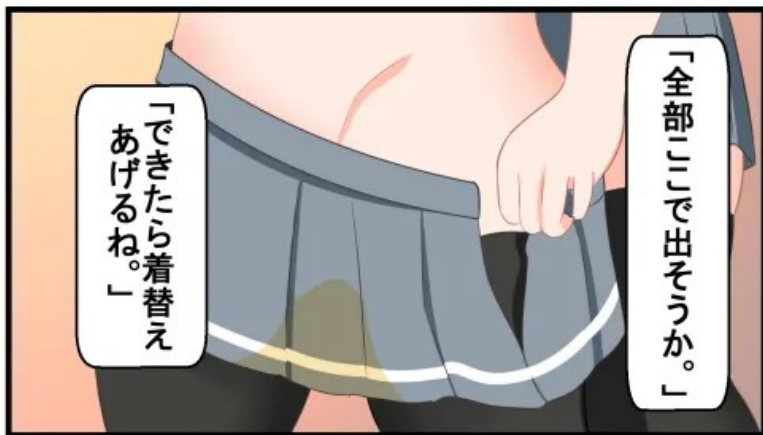
人もいなくなった
所で2人も移動を
開始しました。



そう言ってテキパキと
Aちゃんの服を脱がせました。



「まだ、おしっこ
でるよね?」



「全部」で出そうか。」

「できたら着替え
あげるね。」



人前でおしっこ漏らして
どうだった?

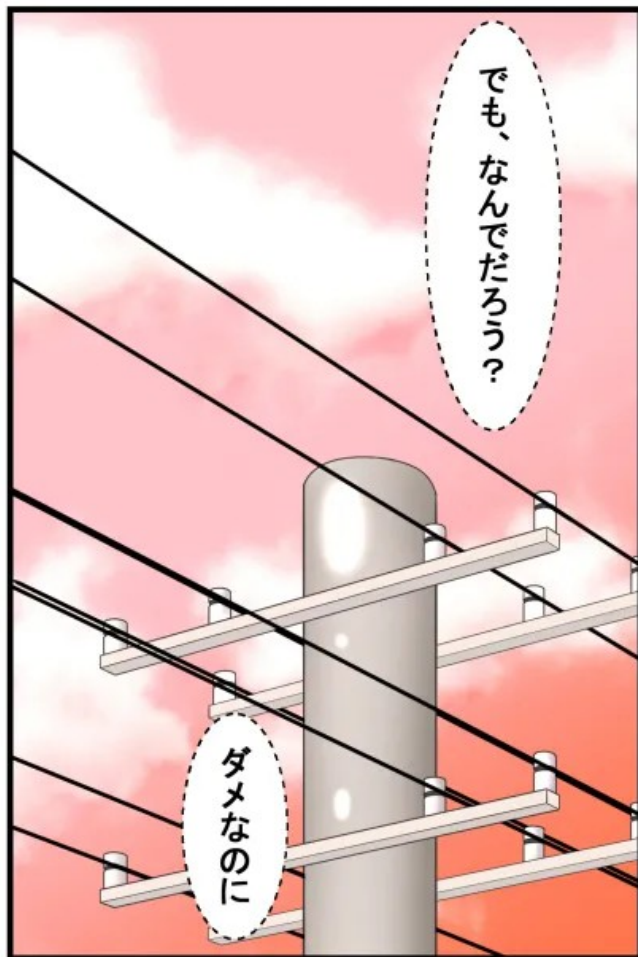
恥ずかしかった。

それだけじゃないよね?

.....
気持ち良かった。

しゃあー

おまけ





あ と が き

お買い上げありがとうございます。

相変わらずのスローペースですがこのシリーズも5作目を迎える事ができました。次の話は8月くらいには投稿できればいいかなあと思っています。

こんなスローペースでもお付き合いいただける方々には本当に感謝です。

さくさく



すごく恥ずかしい。
でも、やめられないの。
どうしてだろう？

まだ明るいのに
こんな格好でお外を
歩いてる。

夜のお散歩の時みたい
誰かに見られちゃうかも。

ドキ

ドキ



読み聞かせ風
少女体験談 その5